

農学と地域活性化

日時:平成22年10月16日～12月18日(土曜日13時から全5日間)

対象者:岡山大学学生・地域活性化に関心のある企業・自治体・NPO 団体・県民・市民の方など

目的:農村地域の活性化に、農学がいかにかわるべきかについて、当事者の自発的な協働として最近取りあげられている「新しい公共」という視点から、人や地域の絆の再編、再構築について、考察を深める。また、農学からみた福祉の取り組みや農学からみた産業としての農業とバイオマス利用との関係およびその現状を実践の現場からの情報に基づいて把握し、産官学民がそれぞれどのようにアプローチできるか、参加者全員で考えていきたい。

●第9回 岡山大学農学部公開シンポジウム

会場:岡山大学一般教育棟A棟別館A21教室

第1回 10月16日(土)13時～17時

●テーマ:「新しい公共」の創生と農学の果たすべき役割

■講師

館 逸志(内閣府公共サービス改革推進室長)

高尾総司(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 講師)

佛田利弘(石川県ぶった農産 社長)

アリ・ソイル(岡山県勝央町 ブドウ栽培者)

池田陽子(宮崎県南郷町 マンゴー栽培者)

小松泰信(岡山大学大学院環境学研究科 教授)

■意見交換会 17:30～19:00, 参加費 2000円
(会場:ピーチユニオン, 1週間前までにお申し込み下さい)

●農と福祉

会場:岡山大学農学部多目的室

第2回 10月23日(土)13時から

●テーマ:「市民皆農」を旗印に「耕す市民」を育てる横浜市の取り組み

■講師

森 能文(横浜市環境創造局・北部農政事務所・農業振興担当係長)

高橋武博(京都市東部農業振興センター・所長)

榊 浩行(農林水産省大臣官房 参事官)

第3回 10月30日(土)13時から

●テーマ:農業と福祉のいい関係!ユニバーサル農園の役割と仕組み

■講師

鈴木厚志(京丸園(株)代表取締役)

上野康博(厚生労働省職業安定局障害者雇用対策課 調査官)

●農とバイオマス

会場:岡山大学農学部多目的室

第4回 12月11日(土)13時から

●テーマ:農畜産物流通の革新による岡山県農業の活性化

■講師

木戸啓仁(くらしき作陽大学食文化学部現代食文化学科 教授)

清原昭子(中国学園大学現代生活学部人間栄養学科 准教授)

河田員宏(岡山県農林水産総合センター農業研究所 専門研究員)

横溝 功(岡山大学大学院環境学研究科 教授)

駄田井久(岡山大学大学院環境学研究科 准教授)

小松泰信(岡山大学大学院環境学研究科 教授)

第4回目の講義は、地域農林経済学会中国支部と共同開催

第5回 12月18日(土)13時から

●テーマ:森林・林業を通じた地域の活性化

■講師

牧 大介((株)西粟倉・森の学校 代表取締役)

中嶋健造(NPO法人土佐の森・救援隊 事務局長)

星原達雄(真庭森林組合 代表理事組合長)

国立大学法人岡山大学農学部教務学生担当

〒700-8530 岡山市北区津島中一丁目1-1

TEL:086-251-8286 FAX:086-251-8388

申込方法は岡山大学農学部ホームページでもご確認いただけます。

<http://www.okayama-u.ac.jp/user/agr/>

お問い合わせ/お申し込み先

受講料は無料です。

1週間前までにお申し込み下さい。